

(5) 実用発電用原子炉施設における放射性廃棄物管理の状況

ガス冷却型原子炉施設（GCR）及び沸騰水型原子炉施設（BWR）

発電所名	放射性気体廃棄物及び放射性液体廃棄物				放射性固体廃棄物				
		放射性気体廃棄物		放射性液体 廃棄物 ( <sup>3</sup> Hを除く)	ドラム缶 発生量 (本)	その他の 種類の 発生量 (本相当)	ドラム缶 累計 保管量 (本)	その他の 種類の 累計 保管量 (本相当)	貯蔵設備 容 量 (本相当)
		放射性 希ガス (Ci)	放射性 ヨウ素 [ <sup>131</sup> I] (Ci)						
日本原子力発電(株) 東海発電所	原子炉施設合計	<sup>3</sup> 7.9×10	<sup>-5</sup> 1.0×10	<sup>-3</sup> 3.2×10					
	年間放出 管理目標値	<sup>4</sup> 1.6×10	-	1	1,002	872	951	428	約 1,600
日本原子力発電(株) 東海第二発電所	原子炉施設合計	<sup>*1</sup> N.D.	<sup>*2</sup> N.D.	<sup>-3</sup> 3.6×10			<sup>*4</sup>	<sup>*5</sup>	
	年間放出 管理目標値	<sup>4</sup> 3.9×10	1.6	1	2,480	392	26,184	4,868	約 73,000
日本原子力発電(株) 敦賀発電所	原子炉施設合計	<sup>-2</sup> 6.8×10	<sup>-5</sup> 1.1×10	<sup>-4</sup> 6.8×10			<sup>*6</sup>		
	年間放出 管理目標値	<sup>4</sup> 4.5×10	2.2	1	2,640	1,384	25,551	5,968	約 35,000
東北電力(株) 女川原子力発電所	原子炉施設合計	<sup>*1</sup> N.D.	<sup>*2</sup> N.D.	<sup>*3</sup> N.D.					
	年間放出 管理目標値	<sup>4</sup> 3.8×10	2.3	0.1	344	0	496	0	約 15,000
東京電力(株) 福島第一原子力発電所	原子炉施設合計	<sup>2</sup> 4.8×10	<sup>-2</sup> 1.3×10	<sup>-3</sup> 2.5×10					
	年間放出 管理目標値	<sup>5</sup> 2.4×10	13	6	25,343	0	211,590	150	約 298,500
東京電力(株) 福島第二原子力発電所	原子炉施設合計	<sup>*1</sup> N.D.	<sup>-6</sup> 5.3×10	<sup>*3</sup> N.D.					
	年間放出 管理目標値	<sup>5</sup> 1.5×10	6.3	3	3,665	0	7,120	0	約 32,000
東京電力(株) 柏崎刈羽原子力発電所	原子炉施設合計	<sup>-5</sup> 3.8×10	<sup>*2</sup> N.D.	<sup>*3</sup> N.D.					
	年間放出 管理目標値	<sup>4</sup> 4.3×10	2.1	1	0	0	0	0	約 15,000
中部電力(株) 浜岡原子力発電所	原子炉施設合計	<sup>*1</sup> N.D.	<sup>-6</sup> 7.0×10	<sup>-3</sup> 1.9×10			<sup>*7</sup>		
	年間放出 管理目標値	<sup>4</sup> 7.5×10	5.9	2	144	0	30,794	1,100	約 42,000
中国電力(株) 島根原子力発電所	原子炉施設合計	<sup>*1</sup> N.D.	<sup>*2</sup> N.D.	<sup>-4</sup> 2.2×10			<sup>*8</sup>	<sup>*9</sup>	
	年間放出 管理目標値	<sup>4</sup> 3.7×10	1.8	1	1,019	207	20,821	745	約 35,500

- \*1 検出限界濃度は  $5 \times 10^{-7}$  (  $\mu\text{Ci} / \text{Cm}^3$  ) 以下である。
- \*2 検出限界濃度は  $2 \times 10^{-13}$  (  $\mu\text{Ci} / \text{Cm}^3$  ) 以下である。
- \*3 検出限界濃度は  $5 \times 10^{-7}$  (  $\mu\text{Ci} / \text{Cm}^3$  ) 以下である。( <sup>60</sup>Coで代表した。)
- \*4 東海発電所からの搬入分(1,020本)を含む。
- \*5 東海発電所からの搬入分(720本相当)を含む。
- \*6 今年度焼却分(3,580本)を差し引いた量である。
- \*7 今年度焼却分(1,540本)を差し引いた量である。
- \*8 今年度焼却分(1,164本)を差し引いた量である。
- \*9 今年度圧縮減容量(320本相当)を差し引いた量である。

加圧水型原子炉施設（PWR）

発電所名	放射性気体廃棄物及び放射性液体廃棄物				放射性固体廃棄物				
		放射性気体廃棄物		放射性液体 廃棄物 ( <sup>3</sup> Hを除く)	ドラム缶 発生量 (本)	その他の 種類の 発生量 (本相当)	ドラム缶 累計 保管量 (本)	その他の 種類の 累計 保管量 (本相当)	貯蔵設備 容 量 (本相当)
		放射性 希ガス (Ci)	放射性 ヨウ素 [ <sup>131</sup> I] (Ci)						
関西電力(株) 美浜発電所	原子炉施設合計	1 5.0×10	-3 2.4×10	-3 1.0×10	725	297	*3 18,884	4,149	約 35,000
	年間放出 管理目標値	4 5.9×10	2	3					
関西電力(株) 高浜発電所	原子炉施設合計	1 3.7×10	-5 5.0×10	-4 1.7×10	1,626	57	24,294	1,903	約 50,600
	年間放出 管理目標値	4 9.0×10	1.7	4					
関西電力(株) 大飯発電所	原子炉施設合計	1 5.1×10	-5 1.4×10	-4 5.0×10	673	87	13,528	1,262	約 18,900
	年間放出 管理目標値	4 7.3×10	2.2	2					
四国電力(株) 伊方発電所	原子炉施設合計	1 1.3×10	-4 9.1×10	*2 N.D.	1,577	89	*4 7,244	*6 1,233	約 18,500
	年間放出 管理目標値	4 3.0×10	2	2					
九州電力(株) 玄海原子力発電所	原子炉施設合計	1 2.5×10	*1 N.D.	*2 N.D.	1,777	88	*5 13,257	1,071	約 19,000
	年間放出 管理目標値	4 3.0×10	2	2					
九州電力(株) 川内原子力発電所	原子炉施設合計	-1 4.7×10	*1 N.D.	*2 N.D.	290	9	358	17	約 17,000
	年間放出 管理目標値	4 4.4×10	1.7	2					

\*1 検出限界濃度は $2 \times 10^{-13}$  (  $\mu\text{Ci} / \text{Cm}^3$  ) 以下である。

\*2 検出限界濃度は $5 \times 10^{-7}$  (  $\mu\text{Ci} / \text{Cm}^3$  ) 以下である。(  $^{60}\text{Co}$ で代表した。 )

\*3 今年度焼却分( 4本)を差し引いた量である。

\*4 今年度焼却分(1,573本)を差し引いた量である。

\*5 今年度焼却分(1,037本)を差し引いた量である。

\*6 前年度末累積保管量に今年度発生量を加えた量と一致しないのは、換算後の端数処理による誤差である。